

# 中小企業・小規模事業者の賃上げ・ 価格転嫁の状況について

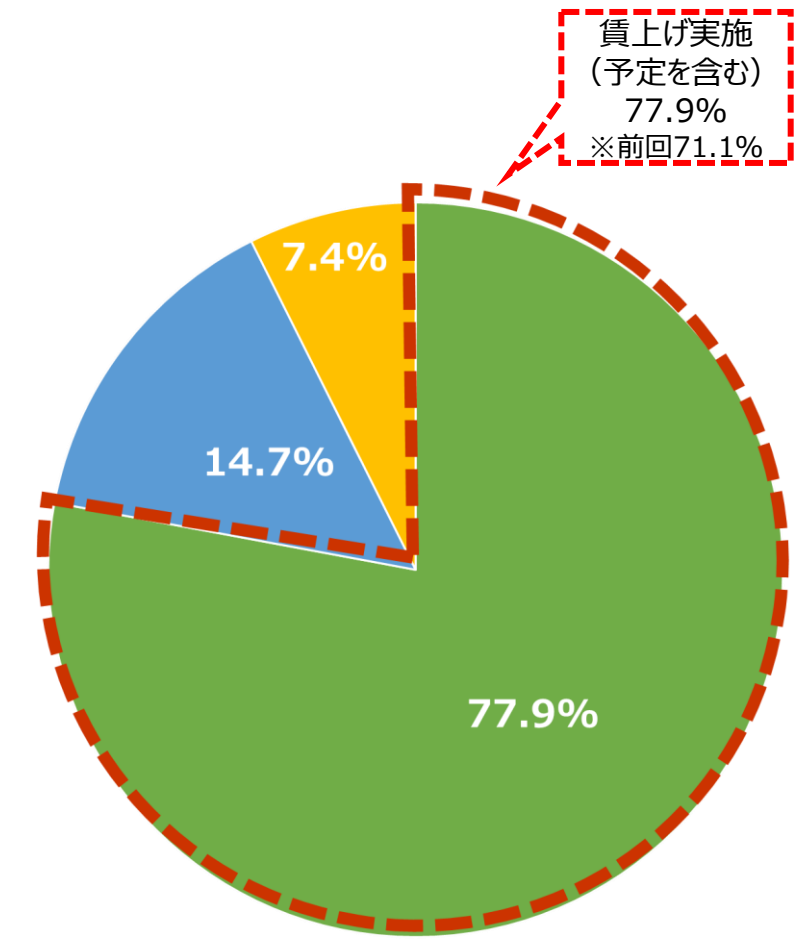
---

令和 8 年 2 月 2 日  
全国商工会連合会

# 1.令和 7 年度の賃上げ状況①

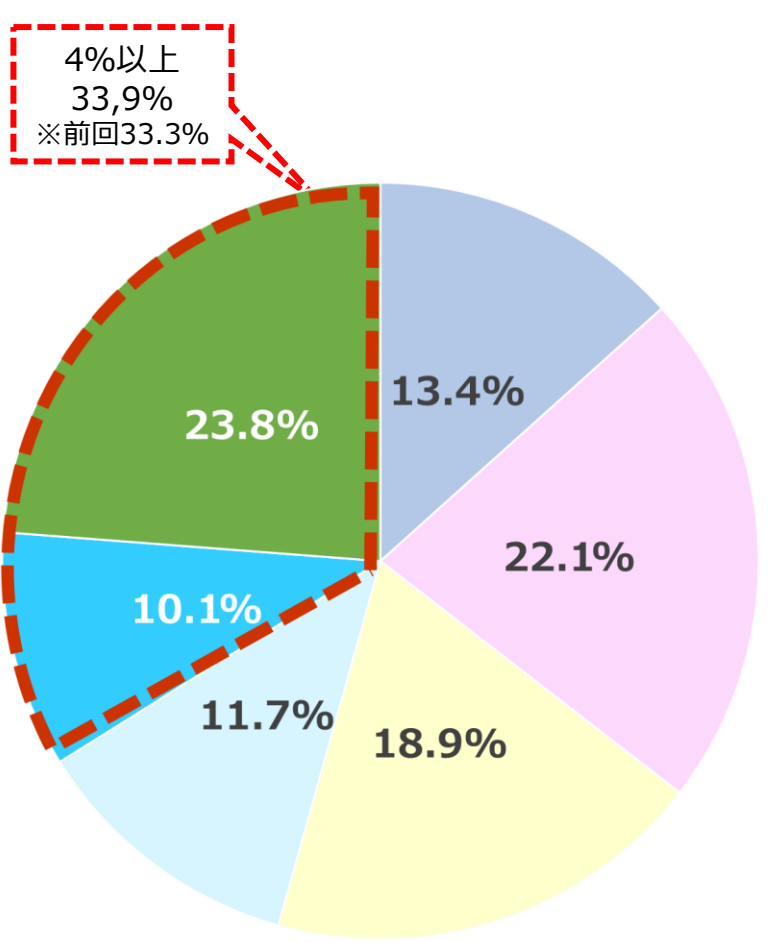
- 賃上げを実施（予定を含む）した割合は、77.9%
- 4%以上の賃上げを実施した割合は、33.9%
- 売上規模1億円以上では88.7%が賃上げを実施（予定を含む）している、一方、3千万円未満では60%台にとどまり、規模による格差が生じている

令和 7 年度の賃上げの状況  
賃上げ実施（予定を含む） 77.9%



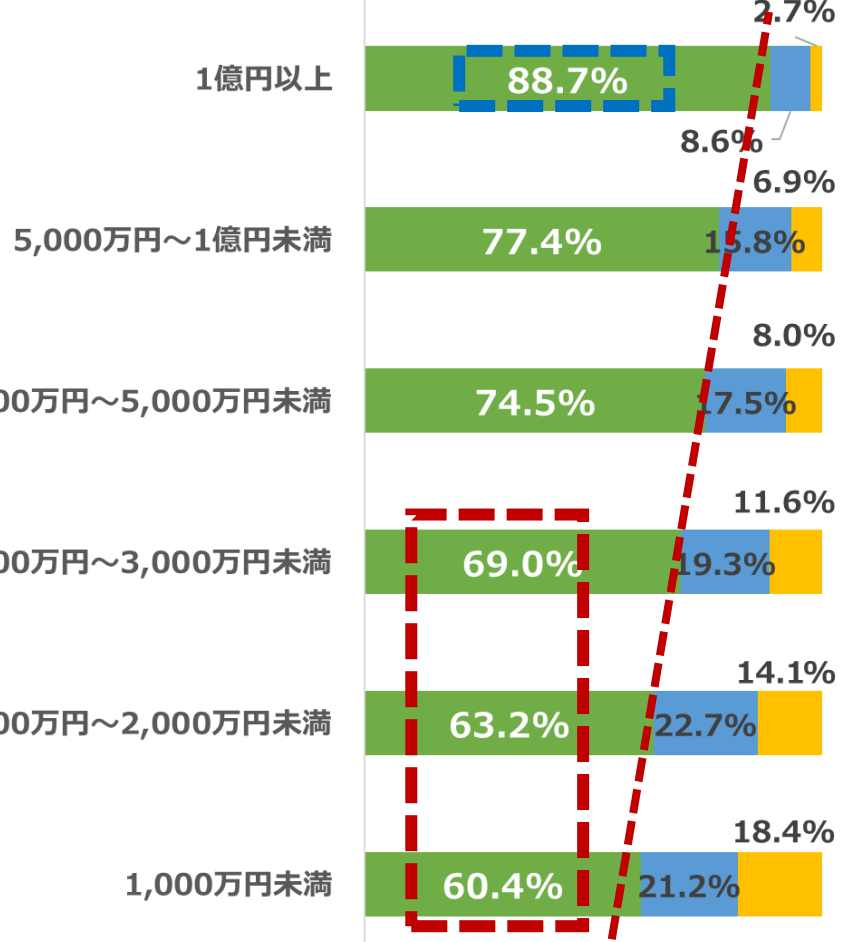
■ 実施した（予定含む） ■ 未定・検討中 ■ しない・できない  
(n = 3,659)

令和7年度の賃上げ率  
4%以上の賃上げ33.9%



■ 1.0%未満 ■ 1.0%~2.0%未満 ■ 2.0%~3.0%未満  
■ 3.0%~4.0%未満 ■ 4.0%~5.0%未満 ■ 5.0%以上  
(n = 2,666)

売上規模別賃上げの実施状況  
売上規模が大きいほど賃上げを実施



■ 実施した（予定含む） ■ 未定・検討中 ■ しない・できない  
(n = 3,778)

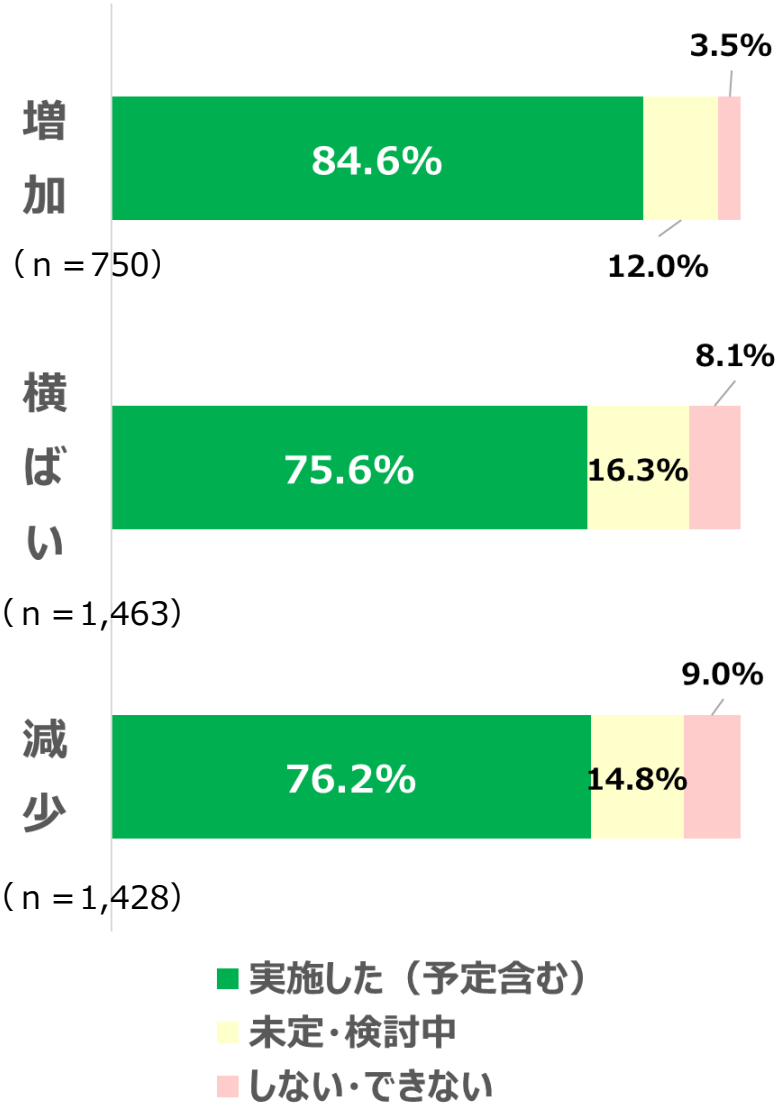
※前回とは、全国商工会連合会：令和 7 年度「賃上げ等に関するアンケート調査結果（令和7年5月1日~20日）」を指す

# 1.令和7年度の賃上げ状況②

- 営業利益が「減少」していても、76.2%が賃上げを実施（予定を含む）し、また、4%以上の賃上げが33.3%と、身を削って賃上げを実施
- 今後5年間の賃上げの持続については、おそらくできない（不透明）がどの階層でも50%台～80%台を占め、不透明感が強い

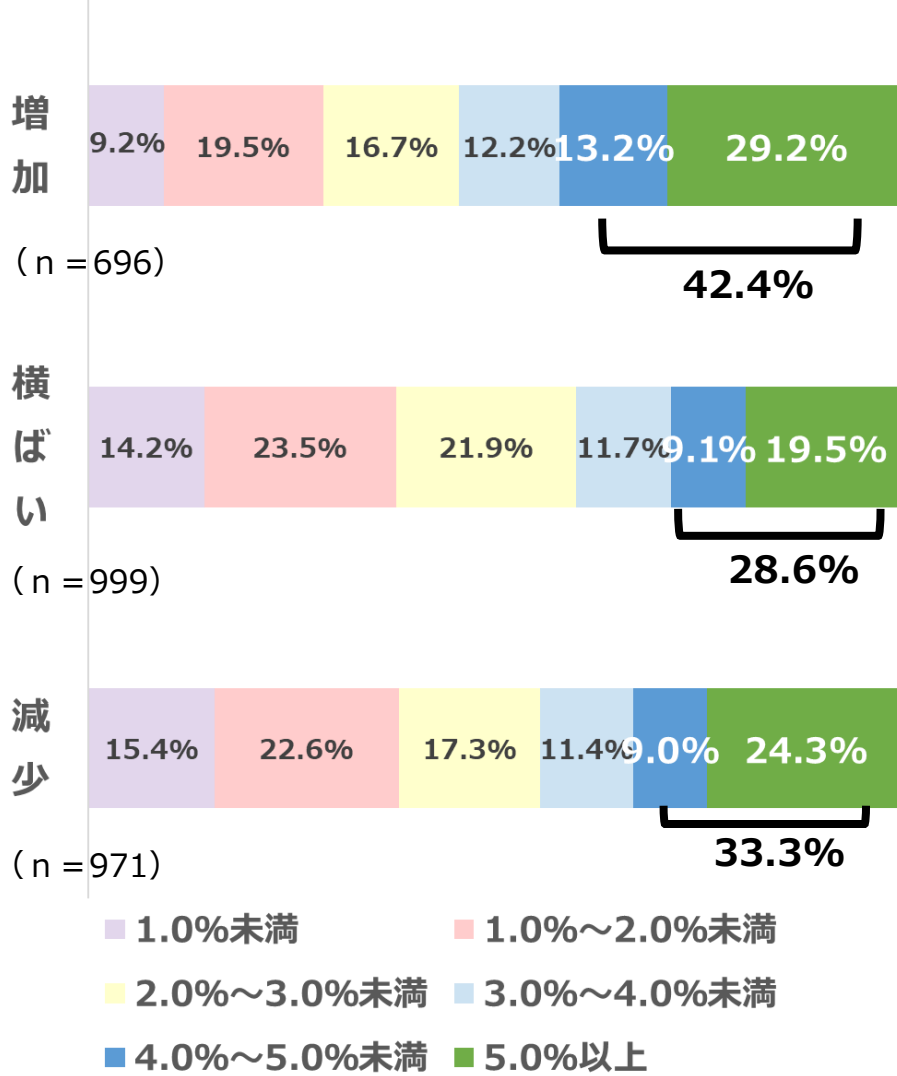
利益状況別賃上げの状況

営業利益減少でも76.2%が賃上げ



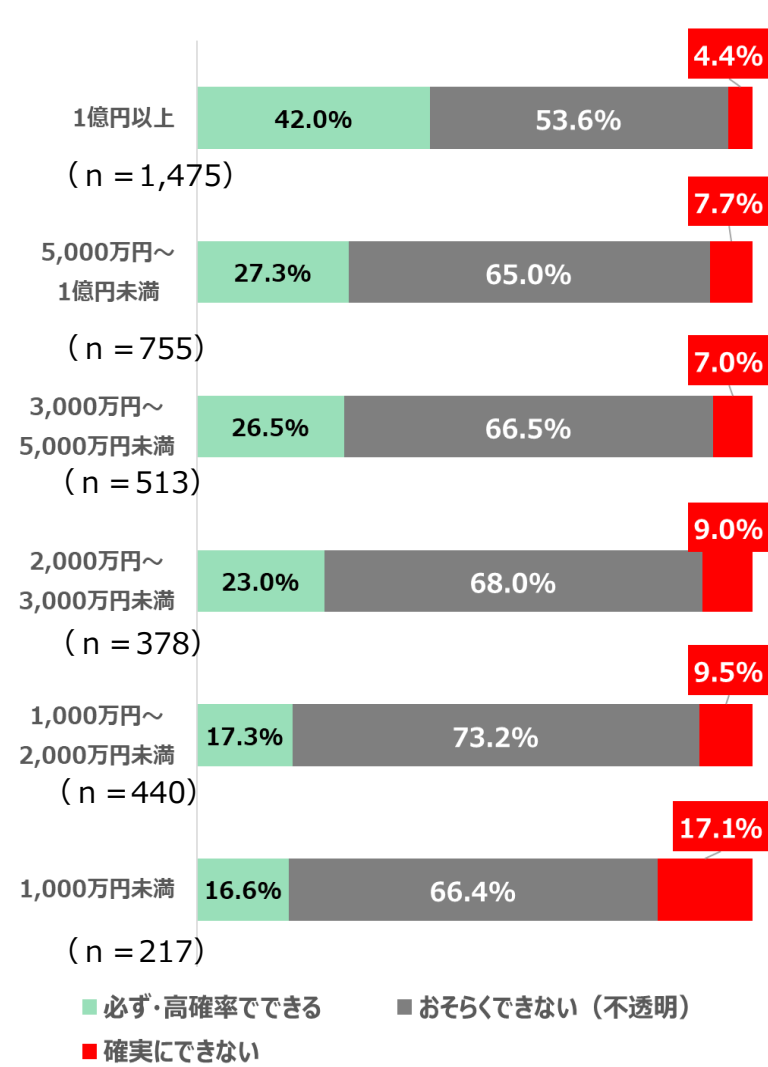
利益状況別賃上げ率の状況

営業利益が増加傾向だと賃上げ率も高い



売上規模別今後5年間の賃上げ見通し

賃上げの持続性は不透明感が強い



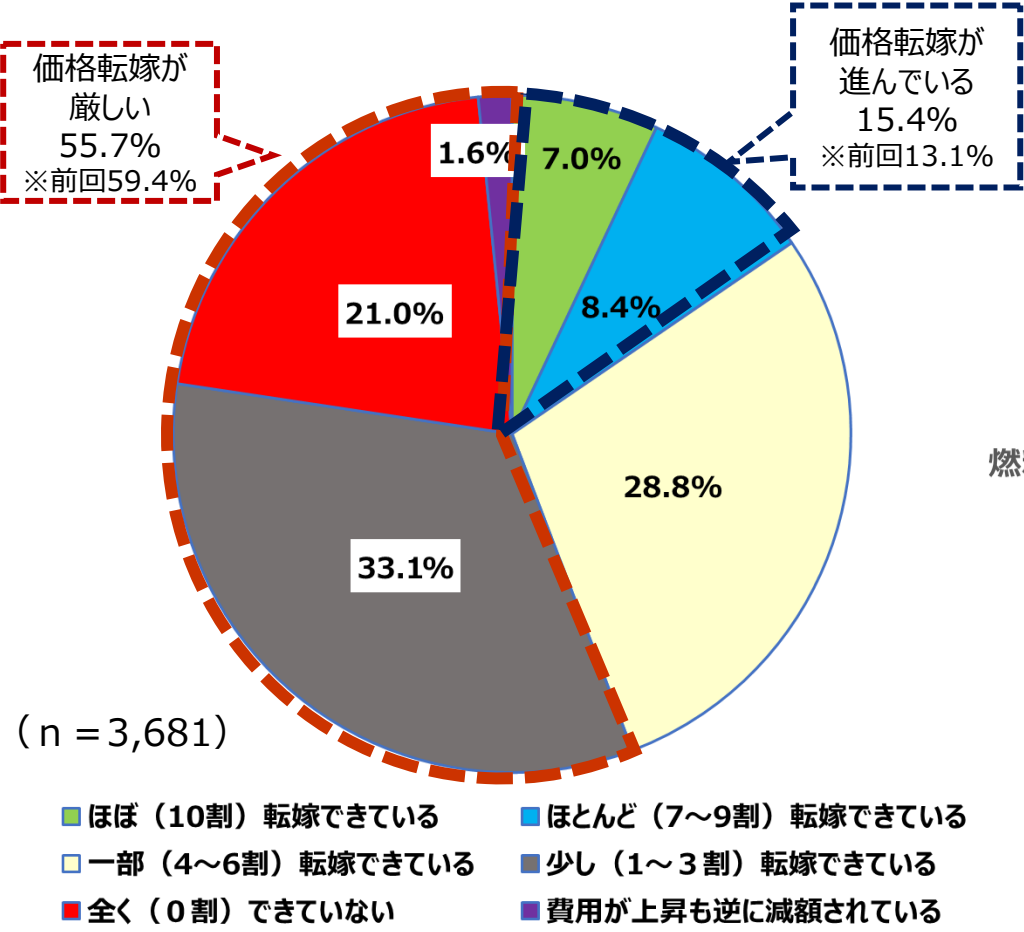
## 2. 価格転嫁の状況

○ 価格転嫁が「進んでいる」事業者は**15.4%**であった、一方、価格転嫁が**厳しい事業者が55.7%**にのぼり、**若干改善したものの引き続き価格転嫁が厳しい状況**

○ 項目別では、価格転嫁ができて**いる事業者が、わずかに改善したものの「原材料費」で22.6%、「燃料・エネルギー費」で14.0%、「労務費」で15.0%**にとどまった一方、価格転嫁ができて**いない事業者が、若干改善したものの「原材料費」で44.6%、「燃料・エネルギー費」で55.0%、「労務費」で56.7%**と引き続き**厳しい状況**

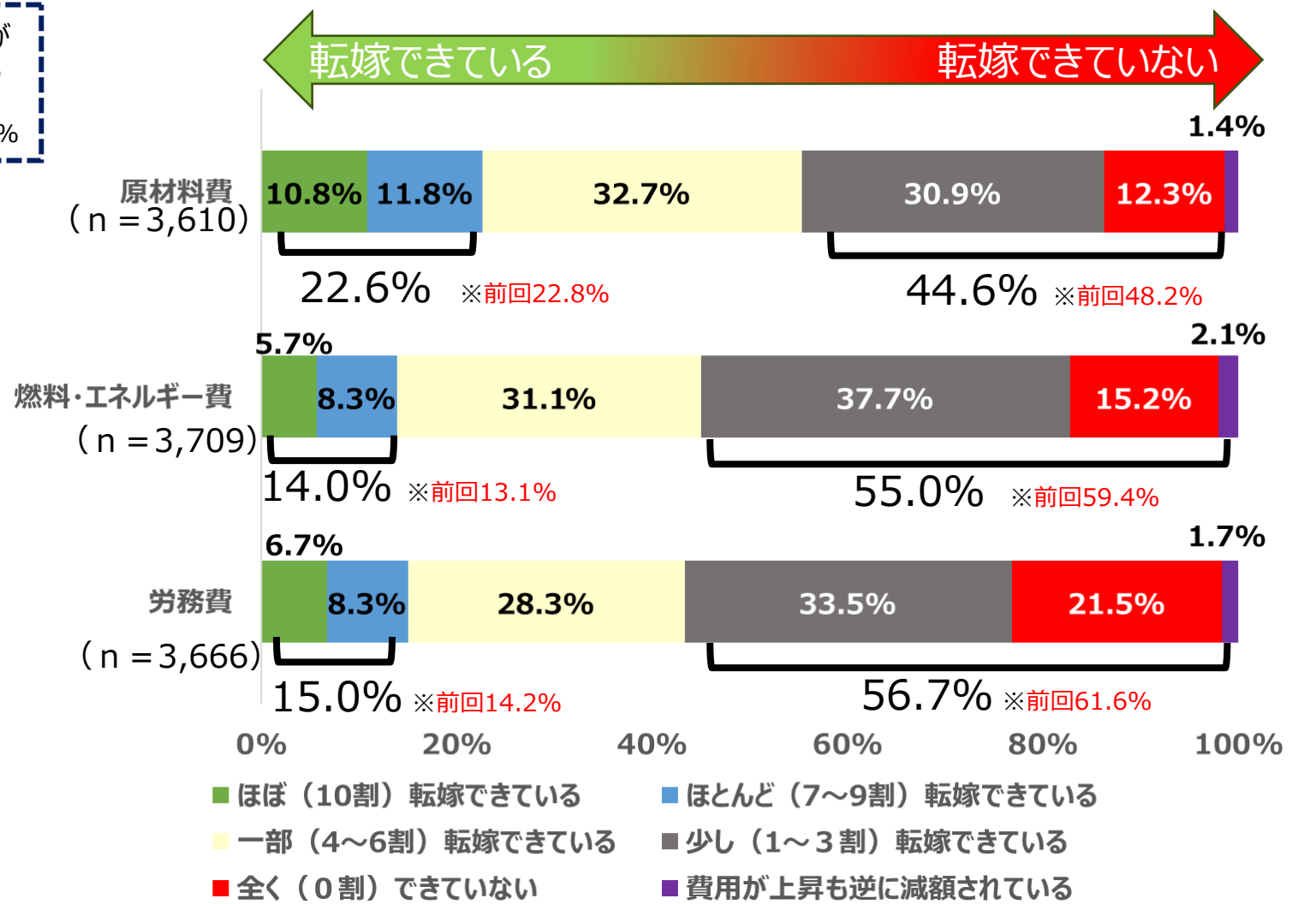
### 価格転嫁の状況

価格転嫁が厳しいが**55.7%**



### 項目別価格転嫁の状況

労務費や燃料・エネルギー費の価格転嫁は特に厳しい



※前回とは、全国商工会連合会：令和7年度「賃上げ等に関するアンケート調査結果（令和7年5月1日～20日）」を指す